

作成 2004.11(0)

高強度タイプ!

接着剤のように強力な両面テープ

ボンド WF101R

ボンドWF101Rは、発泡ポリマーを支持体にして、その両面に特殊アクリル系粘着剤を塗布した高強度両面テープです。

いろいろな被着体に対して、強力な接着力を発揮すると共に、支持体の発泡ポリマーの持つ特性により、被着体面へのなじみが良く、応力にも追従することができます。

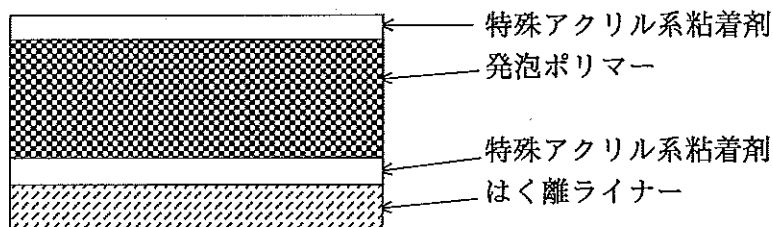
■ 用 途

- 金属家具、建具
 - ◇ 壁板、ドアなどの裏面への補助材の取り付け
- 車両・船舶
 - ◇ 各種内装材の取り付け
- 電気機器
 - ◇ 機器部品、部材の取り付け
- 建築、看板業界
 - ◇ 看板、表示板などの作成および取り付け

■ 特 長

- 金属、硬質プラスチック、ガラス、木材に対して優れた接着力があります。
- 耐寒性、耐熱性、耐候性に優れています。
- 耐水性に優れており、シール効果もあります。
- 被着体の動きに対して優れた追従性を有します。

■ 性 状



テープの厚さ 0.75mm

はく離ライナーの厚さ 約0.13mm

■ 使用方法

- 接着面のゴミ、サビ、油などの汚れを取り除き、よく乾かしてください。
- 5℃～40℃の範囲で使用してください。低温ではり合わせの場合は、粘着力が低下しますのでテープおよび材料を温めてください。
- WF101Rを接着する一方の面にはり、上から強く押さえてください。
- はく離ライナーをはがし、もう一方の接着面とはり合わせた後、接合部をローラー、プレス機などの治具で十分に圧着します。
- 接着後、30分以上静置してから使用してください。

※ 錆止め剤の上からは接着しませんので接着前に充分に取り除いてください。

※ 粘着面に手をふれると接着強さが低下しますのでふれないでください。

※ 一度はったテープは再使用しないでください。

※ 貴金属や高価格品への使用は避けてください。

※ 接着用途以外には使用しないでください。

■ 注 意

- 使用後は、側面にゴミやホコリがつかないように袋や箱に入れて保管してください。
- 直射日光の当たらない屋内に保管してください。に入れてください。

■ 技術データ

以下のデータは断りのない限り、すべて20±1℃、65±5%RHの標準条件下で測定したものです。

1. 引張せん断接着強さ

		養生条件	WF101R
引張せん断 接着強さ N/100mm ²	ステンレス板同士 (SUS 304 BA)	23℃・3日間	122

2. 被着体別90度引きはがし接着強さ

		養生条件	WF101R
90度引きはがし 接着強さ N/10mm	ステンレス板 (SUS 304 BA)	23℃・3日間	22.7
	アルミニウム板	23℃・3日間	20.8
	ポリカーボネート板	23℃・3日間	25.5
	スチレン版	23℃・3日間	23.5
	硬質塩ビ板	23℃・3日間	41.2
	アクリル板	23℃・3日間	32.5
	PP板	23℃・3日間	6.2
	PE板	23℃・3日間	6.8
	ABS板	23℃・3日間	12.2

3. せん断保持力

		試験条件	WF101R
せん断保持力	ステンレス板同士 (SUS 304 BA)	80℃・7日間	落下せず

試験方法

引張せん断接着強さ

標準状態において、脱脂した各種被着体の端部同士をはり合わせ、被着体の上から5kgのゴム張りローラーを約300mm/分の速さで1往復させて圧着し、所定の時間放置する。

引張速度50mm/分で引張せん断試験を行い、破断した最大強度を測定する。

接着面積：15×15mm²

90度引きはがし接着強さ

標準状態において、各種被着体に、テープを特殊アルミ箔（厚さ130μm）で補強してはり合わせ、アルミ箔の上を5kgのゴム張りローラーを約300mm/分の速さで1往復させて圧着する。

所定の時間放置後、90度方向に引張速度300mm/分で引きはがしたときのはく離強さを測定する。

せん断保持力

標準状態において、脱脂した各種被着体の端部同士をはり合わせ、被着体の上から5kgのゴム張りローラーを約300mm/分の速さで1往復させて圧着し、3日間放置する。

各温度雰囲気下において1kgの重りをかけ、所定の時間放置後、重りの有無を確認する。

接着面積：25×25mm²

※ 国際単位系(SI)による数値の換算は、1000cP=1Pa・s(1cP=1mPa・s), 1kgf/cm²=9.8N/cm²です。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能、諸特性などは、材料や使用条件により本資料と異なる結果を生じることがあります。実際の諸性能、諸特性などについてはご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 ボンド事業本部

本 社 大阪市中央区平野町 2-1-2 (沢の鶴ビル)

東京支店 東京都千代田区神田錦町 2-3 (竹橋スクエア)

支 店 名古屋、福岡、札幌

営業所 仙台、北関東、厚木、金沢、広島、高松